

今年は第二次世界大戦の終結から80年という節目の年です。戦禍を生き延びた人々が戦争の記憶を語り継ぎながら、悲惨な戦争を二度と起こすまいと歩んできた80年です。しかし、戦争を知る世代が減少していることから、年々記憶の風化が問題となってきました。さらに、現在も世界では戦争や紛争が現実になっており、当たり前な日常が突然奪われ、人間の尊厳が踏みにじられ、悲しみや苦しみに耐える人や命を奪われる人が絶えません。

本展では、戦争を経験した世代の画家たちの作品を紹介します。戦地で失った仲間を描いた坂本正直、宮崎の町が焼失した様子を描いた岡峯龍也、戦争当時に描かれた戦争画を回収した山田新一らの作品や言葉を通して、それぞれの戦争と平和への思い、その後の画家としての歩みをご覧ください。そして今一度「戦争とは何か」「平和とは何か」について画家とともに考えてみてください。

■展示作品リスト

No.	作家名	生没年	作品名	制作年	大きさ(cm)	技法
1	坂本 正直	1914～2011	戦死輜重一等兵	1986（昭和61）	116.7×90.9	油彩
2	吉加江 京司	1909～1993	母子B ドイツゴシックの画像から	1993（平成5）	116.7×90.9	油彩
3	岡峯 龍也	1896～1977	文華ビル附近	1946（昭和21）	24.0×33.4	油彩
4	オノサト・トシノブ	1912～1986	2ツト4ツノ丸	1955（昭和30）	33.9×24.5	油彩
5	勝田 寛一	1913～1997	苦悩	1946（昭和21）	38.2×45.9	油彩
6	川越 彌録	1917～2008	焱(A)	1958（昭和33）	162.3×130.2	油彩
7	塩月 桃甫	1886～1954	花、アネモネ	1946（昭和21）	33.1×23.7	油彩
8	山田 新一	1899～1991	婦人像	1947（昭和22）	45.3×37.8	油彩
9	浜田 知明	1917～2018	夜	1988（昭和63）	25.7×22.0	エッチング、 アクワティント
10	浜田 知明	1917～2018	ボタン	1991（平成3）	14.0×11.4	エッチング
11	瑛九	1911～1960	兄	1943（昭和18）	23.3×28.4	油彩
12	瑛九	1911～1960	鳩	1949（昭和24）	72.8×60.8	油彩